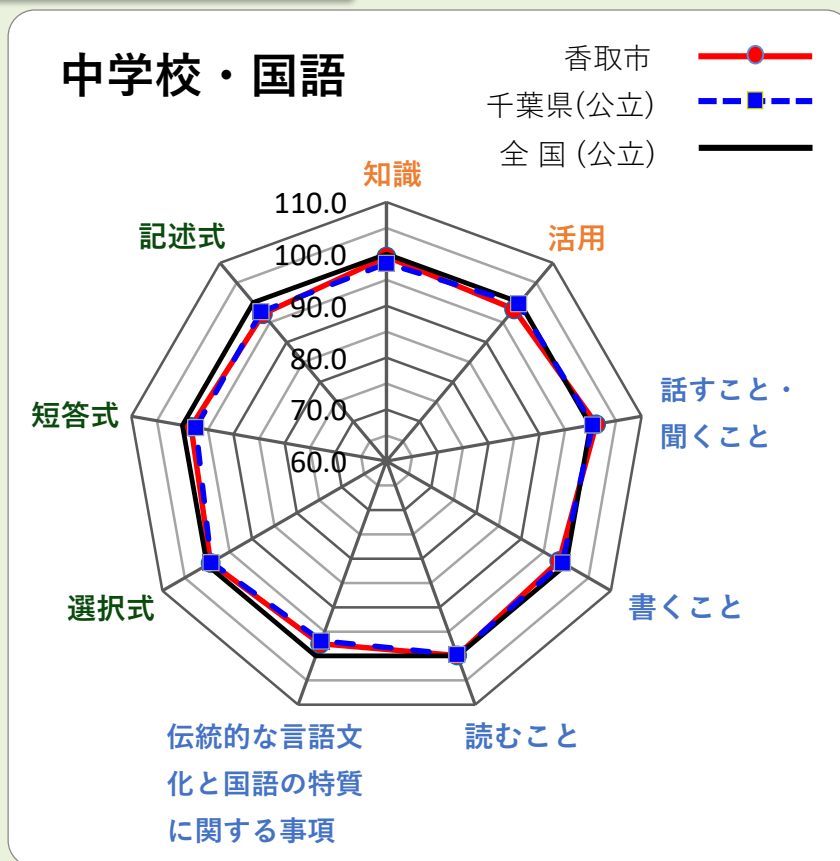


中学校の傾向と課題



「知識」「活用」は全国平均と同程度でした。

領域別では、「話すこと・聞くこと」が全国平均を上回りました。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均を下回り課題が見られました。

問題形式別では記述式が全国平均を下回り、課題となっています。

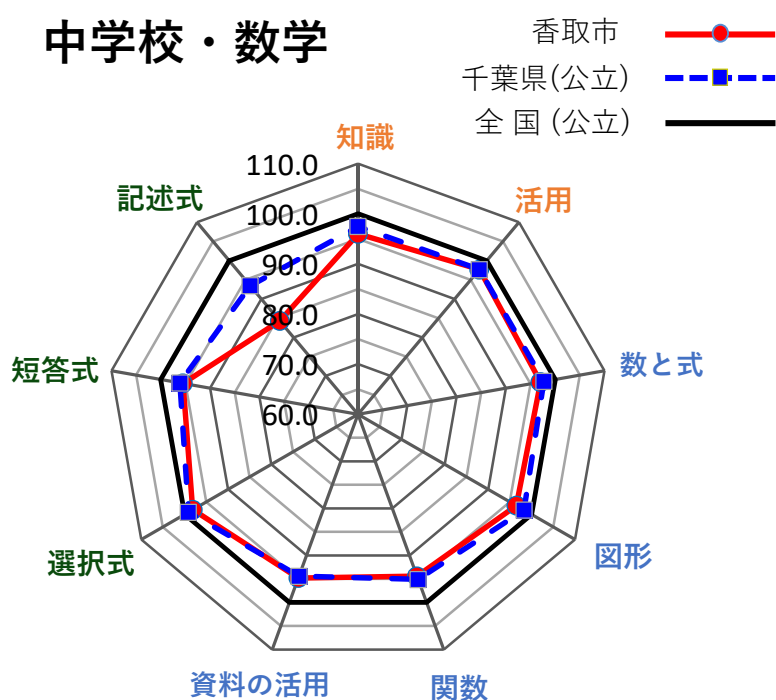
課題が見られた主な問題

- 国語A⁹一1 漢字を書く（組織のキボを大きくする） 香取市 45.2%（全国－17.6）
- 国語A⁹三ア 適切な語句を選択する。（を正して話を聞く。）
香取市 66.1%（全国－10.8）
- 国語A⁹三イ 適切な語句を選択する。（良い結果を出したいときには、といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。）香取市 55.9%（全国－5.5）

力を入れたい学習

- 日常的に漢字指導を行う。例えば、新出漢字だけではなく学年別漢字配当表に示された既習の漢字についても、国語科に限らず他教科でも積極的に指導する。
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるようにする。例えば、着目した言葉について複数の類義語で言い換えたり、ことわざや慣用語、故事成語などの表現に置き換えたりする場面などを意図的に設定する。

中学校・数学



「知識」「活用」ともに、全国平均を下回る結果でした。

領域別では、全領域で全国平均を下回っています。

問題形式別では、記述式が課題となっています。

課題が見られた主な問題

- 数学A **9** 長方形の縦の長さや面積の関係を「…は…の関数である」という形で表現する。
香取市 15.2% (全国-5.4) 【無解答率：香取市 24.6%】
- 数学A **15**(2) 赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その球が赤玉である確率を求める。
香取市 70.0% (全国-8.3)
- 数学B **3**(2) ダムの貯水量を1日ごとに記録した表やグラフを用いて、一定の割合で変化すると仮定したときに、特定の貯水量になるまでの日数を求める方法を説明する。
香取市 13.4% (全国-5.0) 【無解答率：香取市 40.3%】

力を入れたい学習

- 様々な事象の考察を通して、関数の意味を理解できるようにする。その際、事象の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べ、一方(A)の値を決めると他方(B)の値も1つに決まることを確認し、「AはBの関数である」という形で表現する活動を意図的に取り入れる。
- 確率の意味を理解し、樹形図や2次元表を用いて、その全ての目の出方を調べて確率を求める活動を取り入れる。
- 問題解決の方法に焦点を当て、何を(表・式・グラフなど)どのように用いればよいかを明らかにして、お互いの説明を比較検討する活動を取り入れる。その際、表・式・グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について説明する場面を設定する。